

8/17(日)14:00~ 森繁昇サマーコンサート Vol.12 入場無料



今年もハワイ在住のゴスペルシンガー森繁昇さんをお迎えします。ユーモラスなトークと素敵な歌声に乗せて、神様の愛のメッセージをお届けします。爽やかなひと時をお過ごしください。

プロフィール

山口県生まれ。大学卒業後、米国テネシー州に渡り、イエス・キリストに出会う。その後、音楽伝道を開始。1986年ハワイに拠点を移す。年間3~5回来日し、各地の教会でコンサートツアーを展開する。

※同日午前10時30分からの日曜礼拝の中でも、森繁氏の特別賛美があります。
(日曜礼拝では席上献金があります。)

INFORMATION

チャペルコンサート Vol.34

9/28(日)16:00~

畑 儀文 (テノール)
安田 哲也 (オルガン)

キリストを現代に伝える人たち



~コルベ神父~

「私は、受刑者の一人に代わって、死にたいんです」。1941年、時は第二次世界大戦真っ只中、ナチス・ドイツの手によってアウシュヴィッツ強制収容所に収容されていたポーランド人のコルベ神父は、鬼と恐れられていた所長の前に自ら進み出て、このように申し立てました。彼の収容されていた獄舎で脱走者が出たので、10人の者が餓死刑に処せられることになったのです。ところが、そのうちの1人が自分には妻子がいると泣き出しました。コルベ

神父はその人の身代わりになりたいと願い出たのです。そして彼は餓死監房に送られることになりました。餓死監房に入れられた人は、激しい飢えと渇きによって錯乱状態になって死を迎えるものなのですが、彼は違いました。他の人を励まし、祈りと賛美を絶やさなかったのです。地獄と化すはずの監房から、祈りと賛美の音が聞こえてくる様子は、あたかも聖堂のように思われたといいます。やがて2週間が過ぎても、彼を含む数人の者たちはまだ息があったので、薬物注射によって殺されることになります。死を目前にしてもコルベ神父の顔は聖らかで、澄み切った眼差しと毅然とした態度で、自ら注射器の前に腕を差し出しました。そして、静かに息を引き取りました。

「死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう」

コルベ神父は、まさにこの聖書の言葉の通りに生き、死んでいったのです。彼の姿は、あなたの心に何を語りかけるでしょうか。



ケアプラン
デイサービス

オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」

「ケアプラン オリーブの実」は、介護についての相談窓口です。ケアマネジャーが、皆様のお困りのことや介護保険利用についてご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。お問い合わせ・ご相談は下記までお電話ください。

☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」

「住み慣れた場所で最後まで生活したい」という地域の方々の声にお応えしたいと思います。定員15名の小規模型です。少人数の家庭的な雰囲気の中で、心のこもったケアサービスを提供します。見学、体験利用受付中です。

☎:0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

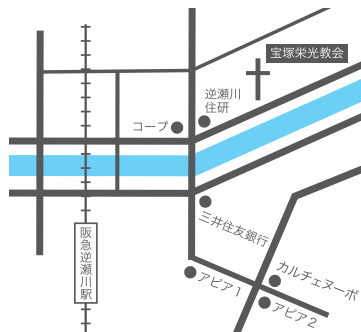
E-mail: info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。



命のパン

「脱法ドラッグ」(のち「危険ドラッグ」に改称)の服用が原因で、車を暴走させ、何人もの尊い人命が奪われるという痛ましい事件が立て続けに起こりました。人の命が、人間の自己中心的な欲望によって、かくも簡単に失われてよいものかと思うと、憤りを禁じえません。無念の死を遂げられた方々のご遺族の上に、神の慰めがありますようにお祈り申し上げます。

私たちの命は一つだけです。代わりになるものではありません。だからこそ、大切にしなければなりません。その命を真に生かすものは何でしょうか。食物でしょうか。財産でしょうか。知識や名誉でしょうか。

私たちの命を生かすものは、神の恵みです。天地を創造された神は、土のちりで人を創り、息を吹き入れて生きるようにされました。人は神の息、神の霊で生きる存在だったのです。

ところが、人はサタンの誘惑によって、神が食べることを禁じられた木の実を食べ、神の言葉に背いて罪を犯しました。こ

れが罪の始まりでした。それ以来、私たち人間は、神に背き続け、その結果、私たちは滅びなければならない者となりました。

そのような私たちを、愛なる神は深く憐れまれ、ひとり子イエス・キリストを世に送られました。キリストはこう語られました。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。」(ヨハネによる福音書6章35節)

キリストは、私たちすべての者の罪を背負って十字架にかかって死なれました。キリストは、自ら死ぬことによって、罪のために死ぬばかりの私たちの魂に命を与え、真の意味で生きる者にくださったのです。いのちのパンであるキリストを信じる者は、決して飢えることも渴くこともなく、新しい命で生きる者になります。人の命は尊いものです。その命を本当の意味で尊くあらしめているのは、キリストを通して与えられる神の恵みです。命のパンとして自らの命を十字架にささげられたキリストのもとに行って、真に生きる者になりましょう。



「ゲンノシヨウコ」

よく日の当たる道端で 見つけた花は
ゲンノシヨウコ

夏から秋にかけて 元気に這っていく 緑の茎と葉の中に
次々と小さな花を 咲かせ続ける

薬草だ

効き目がたちまち現れるから
「現の証拠」という名前だという

日本中 どこにでも 見つけることができる
こんな身近にある ゲンノシヨウコは
昔から今に至るまで

多くの人が 眺めたり 採ったりしたのであるう
薬となつて 困った人を 助けたであろう
そんなことに 思いを馳せていると
白い花が とても力強い花に 見えてきた

雄しべ 雌しべの色合いなどにも
ほかにはないような 芯の強さが
その可憐さの中に 見えるようだ

人間の世界で 何がなされ 何が話されていようと
動じず 淡々と 日々の営みをこなしていく
本当の強さとは何かを 教えられるようだ

いかに 幸いなことでしょう
弱いものに 思いやりのある人は
災いの ふりかかるとき
主はその人を 逃れさせてくださいます
主よ その人を守って 命を得させ
この地で 幸せにしてください
貪欲な敵に 引き渡さないでください
主よ その人が病の床にあるとき 支え
力を失って伏すとき 立ち直らせてください

(聖書)